

4つの個性学 *interview*

Vol.003 ソウルセラピスト 塚田佳穂さん

このインタビューでは、四魂を勉強し社会で活躍している人たちに「四魂の窓」をいかに活用しているかについてお話を頂きます。今回のお相手はソウルセラピストの塚田佳穂さん。ソウルセラピーがどんなお仕事なのか、いかにして四魂を実践されているのか、お聞きしてきました。

—「ソウルセラピー」という言葉を初めて聞いたのですが、どんなことをされるのですか？

塚田：「簡単に言うと、魂のお掃除をするのがソウルセラピストの仕事です。私たちには心があり、その中に魂があります。魂というのは、本来は輝いているものなのですが、中には様々な「想い」に覆われ、輝きを失っている方がいらっしゃいます。そんな魂の声を聞き、エネルギーを注ぎ、元気になるお手伝いをするのが私のソウルセラピーです。」

—「想い」の原因は何なんですか？

塚田：「人によって様々なので、魂に聞きます。具体的なストレスの場合もありますし、周囲の人の想念が原因の

場合もあります。さらに、それが前世からの因縁のこともあるんです。魂の不調は、意味もなく落ち込んだり、人間関係が上手くいかなかったり、不幸が続いたり、そういう形で現れてきます。」

—魂を元気にするお仕事、ということですね。塚田さんのおっしゃる魂と、メキキの四魂というのは同じなんですか？

塚田：「少し違いますね。「四魂の窓」は、私の場合だと魂の周りの「心」といったところでしょうか。でも、同じものを表現しています。違いは、「四魂の窓」は分析的に魂を見るのに対し、私は感覚的に魂と対話する点です。この四魂の分析を学んで、仕事にも応用させてもらっていますよ。クライアントの四魂を見て、それに沿ったアドバイスをします。クライアントが「愛」なら「人の言葉に左右されないで」とか。そうそう、面白いことに「勇」の人はほとんどセラピーにいらっやいません。前しか見ていないからですかね（笑）」



塚田佳穂（つかだかほ）

ソウルセラピスト 東京都出身

東京都出身。四魂は「智」。

志「魂を感じて神と繋がり、生き生きと人生を歩む人を創る！」

塚田佳穂の寺子屋塾
<http://terakoyajuku.jp/n03/index.html>

—塚田さんご自身の四魂についてお話を伺いたいのですが、ご自身の魂は「智」だとおっしゃいました。その理由はなぜですか？

塚田：「私、本当は愛が強かったんです。でも、小学生の時に友達にショックなことを言われて、「ドライな人間になろう」と決めました。—なんて言われたのかは覚えていないんですが。だから「智」です。」

—でも、お話を聞いていると、ソウルセラピーは「愛」の要素が強いお仕事だと思うのですが。

塚田：「そうですね。ですから、仕事を通して「愛」を鍛えてもらっていると思っています。セラピーの時は「愛してるよ、愛してるよ」と言って魂を元気にするんです。愛なしでは、ソウルセラピストは務まりません。」

—塚田さん、ありがとうございました。



聞き手：望月一磨（東京都出身）

